



# 口内炎の治療

## (再発性アフタ性口内炎)

あらゆる口腔内病変について、トレーニングされたヘルスケア専門医による正確な診断が、治療開始以前に不可欠です。再発性アフタ性口内炎 (recurrent aphthous stomatitis / RAS / aphthae) についてそのことはとりわけ重要です。なぜなら、いくつかの全身疾患が口腔内に典型的なアフタ性口内炎と似た潰瘍を口の中に起こし、混同されがちだからです。

再発性アフタ性口内炎は、外傷、自己免疫疾患、ウイルス感染（単純ヘルペス、帯状疱疹など）、さらに口腔ガンなどによる口内炎と紛らわしいことがあります。口腔内潰瘍は、たくさんの全身疾患と関連しており、それがわずかな一症状として現れることがあるのです。一般的ルールとして勧められるのは、10日から14日以上続くあらゆる潰瘍に対しての生検（バイオプシー）です。オーラルメディスンの専門医はそのような病変の診断に関する経験が十分にあります。

口内炎の不快感と重症度は、おおよそ、軽症、中等症、重症に分類されます。低頻度の発症、短い発症期間、そして無症状なものを、軽症とします。幸いにアフタ性口内炎を経験するほとんどの患者が軽症です（右図参照）。中等症と重症の間にははっきりとした境界はありませんが、年に4回以上再発し、不快であるもの日常生活に支障をきたさない程度のアフタ性口内炎の場合、中等症に分類できます。重症の口内炎は、病変は広範に広がり、より激しい痛みを伴い、摂食や会話に困難をきたすことがしばしばです。残念ながら、重症口内炎を発症する患者は頻回でしつこい再発に悩まされます。



一般的に治療のゴールは、疼痛の軽減・治癒の促進・再発の防止の3つからなります。ほとんどの治療法がいくらかの利益をもたらしますが、現在のところ、これら3つすべてのゴールを満たす治療方法はありません。

市販薬・処方薬を含め、多種多様な治療薬が可能で、その用法は、局所（塗布）用、全身（内服）用、あるいはそのコンビネーションがあります。病変の発現箇所、治療のアクセス度、重傷度、発症期間、そして過去の治療の成功度によって、治療の用法が選ばれます。



## 患者用インフォメーション

# 口内炎の治療

## (再発性アフタ性口内炎)

以下はアフタ性口内炎の治療薬の選択について、簡単なまとめです。これらの製品は疼痛を和らげ、病変を起こす炎症を抑えます。いかなる製品についても、使用前にかかりつけ歯科医に相談することを勧めます。場合によっては、さらにすすんだ治療方法についてオーラルメディシンの専門医に紹介されることもあります。



再発性アフタ性口内炎用に市販されている製品例

再発性アフタ性口内炎の治療のための市販薬は、主に4つのカテゴリーにわけられます：貼り薬（閉塞剤・保湿剤）、鎮痛剤、クレンジング剤（殺菌消毒剤）、その他。市販薬品は、その効果増強のためにしばしば多種のカテゴリーの薬剤と混合されます。

**貼り薬（閉塞剤・保湿剤）**は、酸や塩、辛い食物、温度変化などによる機械的刺激から局所表面をカバーすることで、潰瘍ならびに関連末端神経を保護します。これらのコーティング剤は薬理的に不活性物質です。塗布された状態であるかぎり効力がありますが、長期間にわたって粘着され続けることは困難です。保護コーティング剤が他の治療薬剤と合わせて使用される場合には2倍の効力が得られ、閉塞剤（保湿剤）は傷口への外からの刺激を防ぎ、また治療薬剤をその局所に保留します。このカテゴリーに属する主な製品としては Zilactin<sup>®</sup>、Zilactin<sup>®</sup>-B、Orabase<sup>®</sup>、Orabase<sup>®</sup> Soothe-N-Seal<sup>™</sup> があげられます。



# 口内炎の治療

## (再発性アフタ性口内炎)

**鎮痛剤**は症状を緩和し、しばしば他の製品と混合されます。最もよく使用される薬剤は5-20%アミノ安息香酸エチル (benzocaine) です。しかしながら、アミノ安息香酸エチル (benzocaine) はアレルギー源として知られ、過敏症のある患者には使用できません。多くの市販鎮痛剤製品が入手可能です。

**クレンジング剤 (殺菌消毒剤)** は局所を洗浄し、潰瘍表面の細菌数を減少させます。O<sup>3</sup> を発生させる製品がクレンジング剤として使用され、O<sup>3</sup> を発生することで汚染物を取り除き傷口の洗浄ができます。このカテゴリーに含まれる製品としては Amosan<sup>®</sup>, Cankaid<sup>®</sup>, Gly-Oxide<sup>®</sup>, Orajel<sup>®</sup>, Peroxyl<sup>®</sup> などがあります。3%過酸化水素水を直接潰瘍に塗布したりうがい薬として使う場合は、使用前に同量の水で薄めなければなりません。重炭酸ナトリウム (Sodium Bicarbonate、重曹) も傷口の洗浄に使われ、ペースト状あるいは液状 (約113gの水に対し、ティースプーン2分の1~1杯の重炭酸ナトリウム) が可能です。

**その他**、末端神経に作用して症状を和らげるために、病変表面を焼く方法が使われます。これに分類される市販薬はすべてマイルドです。このカテゴリーに含まれる市販薬としては、ORA 5があります。専門医により処方される製品としては Debacterol<sup>®</sup> があります。

**専門医によるケア**は中等ないし重症の病変に進められます。オーラルメディスンの進んだトレーニングを受けた専門医は、さらに重症なケースを診ます。多くの場合、免疫反応を抑えるために、ステロイド塗り薬による局所療法が用いられます。ステロイド内服薬の全身投与あるいはその他の免疫抑制剤が必要であるケースもあります。

**注意書き**：再発性アフタ性口内炎は全身疾患が原因で起こることもあり単純な潰瘍と混同されがちです。それゆえ、もしも病変が2週間たっても治らない場合は専門家の診察を受けることが大切です。

## 再発性アフタ性口内炎について Q&A:

**Q:** 市販薬は効くの？

**A:** 多くの患者さんは市販薬によって症状のいくらかが寛解しています。市販薬は軽症ないし中等症の病変向きに使われるようになってきました。1972年以降、米国のFDA (The Food and Drug Administration) はすべての市販薬が安全で効果的でなければならないと定めています。

**Q:** いつもアフタ性口内炎ができています。どうすればいいの？

**A:** 頻繁にアフタ性口内炎ができる人には、歯科医からさらに専門家、オーラルメディスン専門医への紹介が必要です。かかりつけ歯科医はまず、あなたに“口内炎日誌”をつけるよう勧めるでしょう。血液検査をすることで、ある種の食物に対する過敏性の有無、また全身的な誘因の有無についての見当がつかます。あなたの場合、処方薬が一番効果的かもしれません。



# 口内炎の治療

## (再発性アフタ性口内炎)

**Q:** アレルギーによってアフタ性口内炎はできるの？

**A:** はい。しかし、アレルギー源を特定することはたいへい困難です。アレルギーが原因の再発性アフタ性口内炎の場合は、患者さん自身のケアが予後を左右します。アレルギー源を見つける方法としては、可能性として、ある種 of 食物や飲料水と口内炎の発症との関連を観察することです。多くの場合、小麦（グルテン）、ナッツ、トマト、各種フルーツに過敏反応があります。再発性アフタ性口内炎とよく関連がみられる食物添加剤としては、香辛料のシナモン（ニッキ）と安息香酸（benzoic acid：食物と飲料水によく用いられる保存剤）の2つがあげられます。疑わしい食物、飲料水、添加物などを取らないようにすることで、原因となりうるアレルギー源を見つけることができる可能性があります。

**Q:** うがい薬は再発性アフタ性口内炎の防止になるの？

**A:** とりわけ再発性アフタ性口内炎用というものではありませんが、Listerine<sup>®</sup>（市販）、Peridex<sup>®</sup>・Periogard<sup>®</sup>（クロルヘキシジン chlorhexidine gluconate として処方）などを使うことで、疼痛が和らぐかもしれません。しかし、うがい薬が口内炎の再発を防止することはほとんどありません。

このモノグラフに含まれる情報は、教育目的のみに作成されています。本情報は、専門医のアドバイス、診断、治療にかわるものではありません。健康状態についてのご質問は専門医療提供者にご相談ください。本モノグラムに提供された情報のみに頼ることは、あなたの健康のリスクにつながります。

オーラルメディシン米国アカデミー（THE AMERICAN ACADEMY OF ORAL MEDICINE : AAOM）について  
オーラルメディシン米国アカデミーは、デンタルメディシン米国アカデミーとして1945年に設立された非営利団体（501c6）であり、1966年に現在の名称に改称されました。オーラルメディシン米国アカデミー会員は、国際的に認識されるヘルスケアプロフェッショナルのグループを含む、複雑な全身疾患・口腔粘膜疾患・慢性口腔顔面疼痛などを患う患者の口腔ケアに携わる専門医からなります。オーラルメディシンは、複雑な全身疾患の口腔管理を担い、口腔顔面領域に影響を及ぼす医科関連疾患とその病態の診断および非外科的処置を担う歯科専門分野です。

**The American Academy of Oral Medicine • (425) 778-6162 • [www.aaom.com](http://www.aaom.com) • PO Box 2016 • Edmonds • WA • 98020-9516**